



HSK
かなつき
神無月号
NO.143 2012.10.10号
Advocate

1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号487号
発行/2012年10月10日(毎月10日発行)
編集者/我妻 武
住所/〒063-0812
札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMOI F
特定非営利活動法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
H P <http://npolife.net/>
発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
定 価/100円



第29回 共同連全国大会 東京大会

専務理事 石澤 利巳

—— ようやく一筋の光が見えて来たか? ——

9月1日・2日に開催された共同連大会は、昨年に引き続き東京での開催となりました。会場の立教大学池袋キャンパスには、2日間で延べ1,100名を越える人が集まりました。

北海道からは、ライフをはじめ共同連北海道の仲間たち25名の参加でした。

今年の大会は、社会的事業所促進法をどのように実現するのか、という事に集約された内容でした。今までは、障害者関係の事業所を中心とした参加が多かったのですが、今年の大きな成果としては、NPOジャパンマック、日本ダルク本部、NPOホームレス支援全国ネットワーク、ワーカーズ・コレクティブネットワークジャパンなど、社会的事業所促進法を共同提案する、広範囲の仲間たちの参加があったことです。障害者と共に働く場をめざしてきた共同連という小さな流れが、日本国内の様々な社会的困難を抱える人々との協同で大きな社会運動をつくりだそうとする強い志が生み出した結果なのでしょう。

一つ残念だったのは、厚労省社会・援護局生活困窮者自立支援室の黒木正人さんの参加がなかったことです。社会的事業所の法制化を進めるうえで、厚労省の生活支援戦略はその重要な役割を担っている以上、黒木室長の報告はぜひ聞きたかった。

その後、厚労省では、生活支援略の中に中間就労支援(就労訓練)だけではなく、雇用関係をもつて働き続けることができる場への支援も含めて考えているとの情報もあり、ようやく一筋の光が見えて来たように思います。

北海道では、今年の11月9日に共同連北海道ブ

ロック結成交流大会が開催されます。これを契機に、更に多くの仲間たちとの合流をつくりだし、共同事業所から社会的事業所へと大きな時代の転換をつくりだす主体として、これからも活動を進めていきたいと思っています。

来年の第30回共同連大会は、新潟県での開催が決まりました。北海道からもさらに多くの人たちと一緒に参加できる準備を共に始めましょう。

共同連北海道ブロック会議 結成交流大会

- 共生・共働の社会的障害があってもなくても共に働き、共に生きる場をつくらう!
- いろんな困難を抱える人たちと共に働ける社会的事業所をめざそう!

そんな想いを共有する仲間たちとの出会いを求めて、共同連北海道ブロック会議を結成することにしました。

想いを共有する仲間たち、みんな集まろう!

日 時 / 2012年11月9日(金)
午後3時 開会

会 場 / 市民活動プラザ星園2階ホール
札幌市中央区南8条西2丁目
(駐車場がありません)

参加費 / 3,000円(交流会費用含)

- ◆第1部 15:00~ オープニング・セレモニー
~オープニングパフォーマンス交流会~
- ◆第2部 16:30~ 共同連北海道ブロック会議結成大会
・基調講演・北海道ブロック会議の説明と役員紹介
・北海道ブロック会議代表挨拶
・共同連北海道ブロック会議結成宣言
- ◆第3部 17:30~
共同連北海道ブロック会議結成交流パーティー

● 参加申し込み・問合せ先

NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ
電話011-633-6666 (担当/石澤)

共同連全国大会に初参加して

もじや 西田 彩

去る9月1、2日の2日間、「社会的事業所促進法実現!社会的に排除される人と共に働く場を」のスローガンのもと、第29回共同連全国体大会東京大会が立教大学池袋キャンパスにて開催されました。

石澤専務理事と各場の有志10名が参加となり、大会前日の8月31日に現地入り。当事者メンバーと共に宿泊先近くの水族館を訪れるなど、楽しい一時を過ごさせていただきました。

翌1日は朝早めにホテルを出発し、開会の13時まで資料の封入作業や会場設営を行いました。時間になると受付に大勢の人が押し寄せ、あっという間に席が埋まり熱気に包まれる光景は、初参加の私にとって大変迫力がありました。

大会初日は、特別報告「これからの生活困窮者支援」から始まり、講演「生活保障ー排除しない社会へ」という演題のもと、現在取沙汰されている生活保護への風当たりや、尊厳死法案などについても言及され、対談「排除しない社会を実現するために」にて締め括られました。今後の日本社会での生活保障のあり方が議論される中で『社会の99%弱者』という例えが非常に印象的でした。

大会2日目の分科会では、「特別支援教育は共生・共働に結びつく?」に参加。障害の種類や度合いで教育現場を分けるのは、子供のみならず教育者・介護者の成長にとっても良くないのでは、と話し合われ、当事者から「重度の障害でも、普通学級に行きたい」という意見が多数あげられました。特別支援教育について、来年からは共同連全体の課題として皆で考えていきたいそうなので、より平等に人間らしく成長していける教育現場が実現するよう、もっと当事者や経験者の意見が全国に届けば良いと思います。

● 共同連とは～

障害のある人に対する差別とたたかい、障害のあるなしに関わらず、共に働く事業所を展開することにより真の共生社会づくりをめざし1984年結成された。

● 共同連大会とは～

共同連の趣旨に賛同した人たちが全国から集まり、活動の発表や勉強会、コミュニケーションなどを目的とした、年に一度、全国各地で開かれる大会。

共同連全国大会のトーン

ころや 小黒 悠佑

出発の飛行機の中で岡林さんの「僕たちだって人間だ!!」を少し読んでいた。人間的温度の本。この本が共同連への扉を開いたのかも知れない。

私たちが泊まった場所は元巣鴨プリズンの跡地に建てられた60階建て超高層のサンシャインホテル。東京はファンタジーと現実が入り混じった都市。

一日目の宮本さんの講演の中には何度も「価値観の変換」というフレーズがあった。

生保は今や障害者、健常者分け隔てなくなっている。対談の中で湯浅誠氏が放った「責任は皆さんにもある」という言葉は重く受け止めなければならない。

今や政治という言葉は、外側に頼る対象ではなく私たちの中に取り戻さないといけない、ということか。



そんな重たい討議を聞きながらもう一つ気になるトーンがあった。ペットボトルを持ちながら何やら声をあげて会場中を歩く青年がいた。途中で止まったり、壇上に座ったり、座っている人にちょっかい出したり正に縦横無尽だ。彼の情熱的なうごめきは、壇上の3人の静かな雰囲気とは対照的だ。まるで2つの社会が融合してスパークを起こしているようで、私には一種の祭りのように見えた。同時にこの光景を社会の大半が見えていないのはとても不健康なことだと思った。

「価値観の変換」常識を破れば新しい景色が見えてくる。それは「ミンナチガッテミンナイイ」という常識かもしれない。こんなことを思ってしまう私の中にはまだ、あの日の共同連のトーンが残っているのかも知れない。

あゆみちゃんに寄せる想い

きばりや 加藤 信一

2日目の分科会で、あゆみちゃんという寝たきりで、ご両親の介助を受けながら参加された方がいました。常に点滴を体にあて、自分自身ではほとんど何もできない様子でした。やはり「かわいそうに…」という色めがねでみてしまいました。

分科会がすすんでいくうちに「あなたの楽しいことは何ですか?」という質問のコーナーがありま



した。

私などは「仕事の後のお酒」などと無難な答えをしたのですが、あゆみちゃんは「電車やバスに乗れること」と発表されていました。本当なら遊び盛りで、友達と遊んだり、好きな人に恋をしたりと楽しいことばかりのはずの年齢なのに…。

ともすれば私などは、バスの中で他の人にぶつ

かったら「ムッ」としてしまふところなのに、あゆみちゃんはそれが「楽しみ」だということです。

障害者である自分に嫌気がさす時もあります。自分で食事もできて、自分でお風呂にも入れる。こんな当たり前なことに「幸せ」があるんだと、あゆみちゃんに教えてもらいました。

ありがとうございます。

熊本学園大学の4年生が、共同連大会に参加後にNPOライフで実習しました。



カフェド キバリヤでの実習

ライフでの実習報告!!

熊本学園大学 ^{ふなひ} 府内 ^{しほ} 詩帆

こんにちは。9月3日～8日の6日間、ライフでお世話になりました、熊本学園大学4年生の府内詩帆です。

私は今回の実習で、ライフで働いている方々と一緒に生活していく中で、障害をもつ人ともたない人との違いとはいったいなんなのだろうと考えさせられました。

私がこれまでボランティアや実習でお世話になった福祉施設では、障害をもつ利用者ともたない職員は、制服や指導される側とする側という壁で、両者の間が仕切られていた感覚がありました。そこには共に生きるという共生を掲げながらも、障害をもつ人を監視し、健常者といわれる人たちが作ったルールによって、その人達を縛り付けているという現実があったように思います。

しかしライフの職場では、障害をもつ人もたない人、両者が同じ職場で働いており、明確な区別はされていません。指導する側とされる側がきまっておらず、お互いにおしゃべりして笑いあったり、ときには言い争いになったりもしながら共に働いていて、共働している仲間という意識を、ライフの職場の雰囲気から感じる事が出来ました。

また、ライフは障害をもつ人との共生を自分たちの会社内だけでは完結させない、また障害をもつ人がもたない人同様の収入を得るための挑戦を日々、試行錯誤しているということも色々な方々とお話していく中で知っていきました。

いちご農園、カフェ、食堂、印刷業、リサイクル工場などといった様々な業種の職場を開拓させていき、いちご農園でとれたいちごを食堂やカフェで利用できないかメニューを考案する計画をたて、自家製品を作ろうとする挑戦。また農家の方の協力も得てのゆめびりかというお米の小売業務、またサークル活動でよく利用されるビル内にあるカフェでは、希望すれば食事を自分たちが使っている部屋まで配達してくれる、地域にでて交流していくとこの挑戦には、一日の生活がある程度きまっており、地域との交流も年に何回かに限られてしまう施設での生活にはない、自由とこれから事業を自分たちで変えていける可能性があり、ライフはとても魅力的な法人だと思いました。

私は今回の実習で、障害をもつ人への対応の仕方や療育の方法などではなく、障害があつたとしても、その身体にある障害自体が本当の障害となる訳ではなく、受け入れる社会や会社側がその人に障害を与えるものだということを感じました。

私も、人が自分の本来の姿で働き、生活を支えてもらえる会社、そして様々な人達が共生していきける社会を作る一員として参加できるように、ライフで学んだことを生かしながら勉強を積み重ねていきたいです。

今回は実習させていただきありがとうございました。

これからもどうぞよろしくおねがいします。



ひだまりでのラビオリ作り

札幌市リユースプラザ

〒004-0003 札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10
TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

札幌市リサイクルプラザ 発寒工房

〒063-0835 札幌市西区発寒 15 条 14 丁目 2-30
TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816



<http://www.reuseplaza.jp/>

「下水道科学館フェスティバル2012に参加して」

発寒工房 坂本 倫子

今回、私は初参加でした～。初日は9月とは思えないほどの暑さ！せめて顔だけは日に焼けたくないと、頭からタオルをかぶっての参加。はたから見たらさぞかし怪しかったことでしょう。

2日目はあいにくの雨でお客さんも初日から比べたら少なかったのが残念でしたが、ジョンさんと菅原さんが一所懸命作った焼きそばを子供達が美味しい！と食べている声を聞いてとっても嬉しかったです。

それと、なかなか普段ライフのみなさんとお会いする機会も少ないので、みなさんの顔を見れたのことも嬉しかったです。そろそろ…名前と顔、覚えてもらえたかなあ？(笑)

発寒工房 齊藤 悦久

今回は、とにかく暑い。顔も手も腕も真っ赤になりましたね。裏返したら白くて「まるでオセロですよ。」と冗談をまじえながら楽しくやりました。

2日目は雨が降って皆を見守るくらいしか出来ないと思いきや、科学館で接客！！

今回初めて会った人とも縁があったりと、充実した2日間でしたね。

発寒工房 関 隆広

1日目は炭おこしや氷運びですごく暑く感じました。

2日目は雨が降り、炭をおこさず呼ばれるのを待っている間、声を出して呼び込みをしました。

緊張しました。無事に終わって良かったと思いました。

発寒工房 菅原 厚志

2日間、焼きそばの担当でした。こっそりと「まかない」で練習していました。(笑)

今回学んだことは、お客様を大切に感謝をすること。今でも忘れずに心がけています。



☆焼きそば職人 菅原さん(左)とジョンさん(右)

秋の収穫祭 リユースプラザ

10月13日(土)14日(日)

午前10時～午後3時

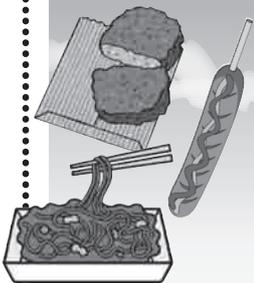
☆新鮮野菜の販売 (なにか販売されるかは当日のお楽しみ)

☆ライフの屋台 (焼きそば・フランクフルト
・揚げたてサンマルココロッケなど)

☆福祉施設の物販 (ばおのハチミツや手作りお菓子
・北愛館のしいたけや手作り品など)

☆市民のフリーマーケット

☆楽しいステージイベントや3R推進月間特別講座
「風呂敷活用」※特製風呂敷プレゼントなど



..... ☆ リユースプラザ・近況報告 ☆

リユースプラザ 松永 クニ子

「ともども秋まつり『まつりだ!環つ』終了

去る9月22日土曜日、今年度4回目のイベント「まつりだ!環つ」が開催されました。来場者数464名と大盛況でした。

ともどもネットとの共働事業である今回のイベントでは、子供たちの素晴らしいバイオリンの演奏や、発寒工房のジョンさんが講師となった《廃材の鳴るこづくり》。リユースイベントの定番キャラ?の《ちつきゅん》との交流など盛りだくさんの内容に、来場者は大喜びでした。

10月13日(土)14日(日)には、今年度最後の屋外イベント《リユースマルシェ》が開催されます。

この度の屋台部門では、ライフの本領発揮の《焼きそば》《フランクフルトソーセージ》などの販売があります。

ぜひ、ライフの皆さま方にはイベントでは屋台や販売での活躍、そしてお客さんとしての来場を心からお願い致します。

「第三土曜日簡単工作教室」

今年の2月から始めた第三土曜日の工作教室が、徐々に人気のコーナーとなって来ました。

今回は、資源回収で持ち込まれる「枝・葉・草」の枝を使った健康棒づくりでした。



枝きりを頑張る工作教室担当 西田大作

翌々日が「敬老の日」ということで手づくりのプレゼントをアピールしたところ、お父さんやお母さんと子供たちが続々と来館。西田先生の手ほどきを受け、紙やすりで仕上げると…桜の枝がとっても可愛い健康棒に変身するのです。おじいちゃんやおばあちゃんへのプレゼントと思って来館しても、あまりの可愛さに「自分用にしたい!」と言い出す子供が続出でした。担当者もとっても感激の1日となりました。

これからは、材料確保のため「枝・葉・草」置き場に目を光らせる西田なのでした。



子どもたちに鳴るこ製作を伝授するジョンさん(中央)



小学生のバイオリン演奏

「リユースプラザの一年間を振り返って」

リユースプラザ 森 絵津子

昨年の10月にリユースプラザ異動して1年が経ちます。最初は容器包装プラスチック、製品プラスチックという言葉に戸惑った私でした。

以前は《ごみ分けガイド》に頼っていたのですが、今ではごみの分別を聞かれたら、「素材が何か?リサイクルされるとどんな製品になるのか?」を考えて、答えることが出来るようになりました。色々な資源物の分別方法をスムーズに案内出来ることは、私にとってもとても大きな変化だと思います。

初めは来館者に《資源とごみの分け方・出し方》を伝えることに一生懸命でした。

でも、「分別することは面倒くさい!」と思わせて

は、ごみの減量には繋がらないことに気づきました。資源物の出し方のルールとその理由を、しっかり伝えて、納得してもらうことが大切なんですよ。

そのほかにも、たくさんの“伝える”ということの難しさと大切さを、来館者やリユースプラザの職員に教えてもらいました。

10月からはライフの新事業、スーパーの資源物の分別事業へ異動になります。職場は変わりますが、リユースプラザで覚えた分別の知識を生かして、メンバーと一緒に頑張っていきたいと思えます。

本当に1年間お世話になりました!



NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

こころや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5
マンションMOMO102
TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323
kokoroya@npolife.net

お米精米・販売
チラシ折り
封筒詰め作業
箱折り
シール貼り
清掃委託業務

こころやのお米について

富橋 祐太

こころやで扱うお米の種類が10月中旬に増えます!!

これまでも大変好評だった北海道を代表するブランド米「ゆめぴりか」はもちろん、道産ブランド米の先駆け、粒がしっかりしておにぎりにもおススメ「ほしのゆめ」、もちろん2種とも低農薬です。

これからも、こころやのお米をよろしくお願いいたします。

「ぼくたちだって人間だ!!」の出版にあたって

岡林 満美

僕の本は、いろんな人達とのふれあいのお陰で出来た本です。

僕の詩や作文があんな立派な本になって何だか照れくさい様な気がします。これも「岡林の本を出そう。」と発案してくれた石澤専務理事や、本作りにたずさわってくれたNPOライフの仲間や栗田ヘルパーのお陰だと感謝しています。

今の世の中は「ふれあいなんて…」という考え方が少なくない様に思います。いじめられたり自殺を考えたり…。そういう子供たちに僕の本を読んでもらって、少しでも生きる力になってくれたら嬉しいです。

僕は言いたい!

障害者でも楽しく生きているんだ、楽しく生きたいと頑張っているんだ、そして、決して一人ぼっちではないんだよ…!と。



こころやの仕事と共同住居について

松村 亨

今僕は、JPの折り、丁合、帯をしています。

清掃も働いています。清掃の内容は、長ぐつ工場のトイレ、ロッカー掃除をしています。それからあけぼの小はトイレ掃除をしています。

住居の部屋で、ラジオをきいています。(野球巨人戦)あとは、テレビを見ています。

洗濯をしたり、たまに部屋をかたづけたりしています。



前号では「自分のこの頃について」書きました。たとえば、ものの言い方がイラついてキレ気味になってる事があるんじゃないかとか、おだやかで通そうとはしてるとか、最後には周りの人にヘラヘラ愛想をふりまかないと、世の中を渡っていけないのかとか、それを前より感じなくはなりましたが、まだうっすらと感じてるなという気持ちはあります。それが今のストレスです。それだけならまだいいんですが、興味あるものにも集中できない時もあったり、しまいにはこのままイライラしていると、何か他人と時間に縛られてる気持ちまでも生まれたり…



前号の続き

笹尾 知弘

今書いているのは表題のとおり、前号のつづきとなります。詳しい内容は前号のこころやページを読んでもらえれば、わかるとおもいます。

自分にストレート(良くも悪くも)すぎてもと。

以上、このごろ感じたことpart②でした。一応今号で終としたいです(*^_^*)

アウトソーシングセンター
元気ジョブ

札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74
市民活動プラザ星園 103
TEL 011-596-6581
FAX 011-596-6582
E-mail:genki@hatarakutei.jp



ミニ大通りお散歩まつりに参加して

中山 庸子

今年は異常な暑さの夏を過ごしてきましたが、9月9日「ミニ大通りお散歩まつり」が開催されました。当日は朝から雨！ 激しい雨の連続で、お客様が来てくれるかとても心配でした。

ミニ大通りお散歩まつりは緑地帯遊歩道界隈に住むご近所様（北4条西11丁目～西17丁目）の顔ぐらい見知って挨拶をしようと、桑園交流ネットワークが3年前から始めたお散歩まつりです。

昨年からは元気ジョブも地域のコミュニティづくりに障害者も積極的に寄与しようと、障害者施設に呼び掛けて、昨年は12か所、今年は10か所の作業所が参加しました。

会場は実行委員会から極楽湯を割り当てられました。昨年は一般企業も何社か同じブースに出展しましたが、今年は福祉関係だけの為、仮称「福祉村」になり、皆さん気合が入っていました。

当日の朝は7:40に会場入りし、極楽湯駐車場でコーンをどけることから始まり、8:00には投光装置が設置されました。現場をいつも使用している方が設置してくれたので、歩行者が足にコードをひっかかないように丁寧にガムテープで固定し、危険が伴わないように配慮してくれました。予定の場所に設置してみると、自転車置き場の方がうす暗かったので、場所を変えて真ん中になるように変更しました。

投光機の下に発電機が付いていますが、発電機を使うと駐車場内にエンジン音が響き、何時間もエンジンを回したままだと頭に響きますので、極楽湯さんの電源を使用させていただきました。

昨年は暗いというのが印象だったのですが、今年は明るく、皆の顔が輝いて見えました。雨にもかかわらず各作業所のメンバーさんはお散歩を楽しみに出発です。途中出展していない所もあり早めに極楽湯まで戻ってきていました。

うららの郷さんも休憩所として使わせていただき、車イス用のトイレ、車イスの方が体を休めるベッドなどを3床も開放して下さり、感謝しています。

このようなご近所様のご協力のもと、ミニ大通り

お散歩まつりが無事に終わりました。各作業所にはワークショップを作ってもらいましたが、雨の為、極楽湯以外のブースへのお客の入りはあまりなかったようです。

今年の試みとして、福祉村お休み処の設置、試飲・試食の確立、各作業所の売り（個性）をキッチリ出すことにチャレンジしました。

すみれのメンバーさんは移動販売をしたいと申し出てくれました。積極的に販売する意欲が成長したな～と感心しましたが、残念ながら出発した後に実行委員会本部から移動販売は止めてほしいと連絡が来て、ブースまで戻ってしまいました。この次は臨機応変に対応できるようにしたいと思います。

工房はまなすのワークショップは、藍染めしたTシャツの販売をしています。サイズが子供サイズしかない為（90と100）大人は自分用を作ることができませんでした。抜染する模様の型は動物柄や花柄など色々あったので来年に期待したいです。



ふじの作業所ではお休み処にベンチ3脚と1人掛け椅子1脚をもってきて『うちの作業所で作ったベンチです。』と説明していました。大きな現物を持ってくるのは大変だったでしょうが、見て、触って、確認して購入になります。1脚販売出来ました。今年は1歩前進しましたね！

来年は福祉村で子供や障害者を対象にした読み聞かせが出来たらいいと思います。

樹上展は、今年も参加作業所がありませんでしたが、極楽湯の周りをそれぞれの作業所の得意な品物で七夕のように飾れたらいいと思います。

毎回反省しながらなので時間はかかりますが、進化するバザーを目指したいですね。



♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

♪ NPO法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

♪ **共働サービス たねや**

♪ 〒063-0804 札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32

♪ テラ二十四軒1階

♪ TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

♪ taneya@npolife.net

♪ ・出張販売

♪ ・配送業務

♪ ・チラシ折り

♪ ・封筒詰め作業

♪ ・箱折り・シール貼り

♪ ・清掃委託業務

♪ ・その他委託業務

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪

『たねやにきて2年目に入ります！』
奥井 忠宏

10月1日で私がたねやに入って1年が経ちました。1年前の初出勤日は忘れもしない「トヨタハートフルバザー」でしたが、今年もみんなの助力で無事に終わりました。2年目もみんなと助け合い、迷惑を掛け合って、店舗も人間も成長していきたいと思います。

さて、最近たねやでは、引き続き店舗販売の強化をしていますが、その中でうれしいことがありました。本当は大小含めてたくさんありますが、ひとつだけ。

普段からあまり大きい声を出さなくて、人前での発表などもあまり進んでしなと思ってた人が、出張販売先でのビル全体に流れる放送を「やりたい」と言ってくれて、実際見事にやりきってくれました。

誰かが頑張った分、他の人の刺激になって、また頑張れるようなたねやが続くと良いなと思った今日この頃でございました。

『仕事のこと』
宮澤 智成

JPの仕事をしました。JPをふうとうぶくろにいれる仕事をしました。ちょっとむずかしかったです。きんちょうしました。

出張販売の仕事をしました。ほくろの僕の声がいつもよりちいさくきこえないと注意されてしまいました。こんどからきをつけます。

いらっしゃいませも大きな声でいいます。僕ははじめきんちょうして、大きな声がなかなかだせませんでした。どりよくして、大きな声をだせるようきをつけます。

まだまだたねや楽しいので、これからもみんなときょうりよくして、きゅうりょうをどんどんあげていきたいです。



☆ たねやイチオシ ☆
今月のオススメ!!



夏の終わりの麺類にも、秋のお鍋にもぴったりのゆず商品をピックアップしました!

- 定番! ゆずぽん酢 360ml 580円
500ml 780円
- ゆずがさらに濃くなった
- 千人の村ゆずぽん酢 360ml 650円
500ml 880円
- だしがたっぷりきいた新商品
- のーがえい 200ml 460円

味のアクセントに小ビンの調味料もオススメ!

- ゆずこしょう(青オニ・赤オニ) 各52g 650円
- 乾燥したゆずととうがらし
- ぱっと馬路村 25g 520円
- 乾燥ゆず皮粉末
- ゆずパッパツ 28g 520円
- 山椒七味 25g 910円

是非、お試しくださいます!! byオク

『すばらしいお店』
南 友康

最近お店を見たらすばらしいお店になっています。そとにたくさんお花をおいてあります。たまにお客さんがきます。すばらしいお店になったおかげでたまにですけどお客さんがくるようになりました。これからも、すばらしいお店になるようがんばります。

『ぼくに合った仕事』
蜂谷 和輝

ぼくは、じゃくしなので、目がわるくてあまりこまかい作業ができないので、ぼくにあった仕事があればいいなあとおもいます。

就労継続支援事業A型
共働事業所
・印刷物版下制作・製本
・ポストインク・DM発送
・その他の軽作業

きばりや



共働事業所 きばりや

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F
TEL:(011)644-5533 FAX:(011)613-9323

Cafe de キバリヤ

〒060-0808 札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ3F
TEL/FAX : (011)758-6533

「札幌市下水道科学館フェスタ2012」に参加！！

門田 輝美

9月8日(土)・9日(日)に、「札幌市下水道科学館フェスタ2012」が開催されました。

ライフは出店担当で、焼そば、フランクフルト、フライドポテト、焼とうきび、かき氷の5種類を2日分て10,000食用意しました。大所帯のライフでも大変な作業でしたが、下水道バザーに参加3年目となると手慣れたもので、ライフが一丸となってB型の工賃値上げのために頑張りました。

私は初日のチケット販売を担当しました。お客様が途切れることなく訪れ、オール100円の破格値に、お客様は『ボランティア価格だね!』と喜んでチケットを買ってくれました。特にライフの焼きそばはプロの味と大好評で、リピーターが続出!『また来ちゃった~!!』と言いながらチケットを買ってくださる方もいらっしゃいました。9月だというのに気温が29.7℃まで上がったのも手伝って、かき氷が飛ぶように売れました。

炎天下の中大変でしたが、楽しそうな子どもたちの笑顔が見られたのが、とても嬉しかったです。



ゆでとうきびの看板を持って呼び込みをしている濱中さん

下水道科学館フェスタ2012に参加して 織本 亜哉子

9月9日曜日に下水道科学館フェスタに参加しました。その日は始める時に大雨が降っていて、やるか、中止するか最初みんな考えました。その後、チケット発売は科学館内ですということで開催することにしました。

私はチケット販売担当で雨模様だから、そんなにお客さんは来ないのかなあと思ったけど、たくさん来てくれてよかった。子供にはカキ氷とフライドポテトが人気、大人には焼きそばが人気でした。

午後から雨が止んできたので、科学館内と屋外でそれぞれチケットを売りました。

また、来年もたくさんお客さんが来て楽しいフェスタになればいいなあと思います。

残暑の続いたイチゴ農園

南條 恭彦

本当に今年の夏は暑かったですね。9月に入ってもひたすら続く暑い毎日にうんざりしました。

豊滝のイチゴ農園も、ハウス作業をしていると、太陽の日差しで肩のあたりがジリジリと照りつけ、汗が滝のように流れてきました。やっと秋らしい天候になりホッとしています。

イチゴの収穫も、終わりに近づいてきています。

おいしいイチゴが生育するように、頑張って農作業をしたいと思います。

仕事について

カフェ 大島 隆也

去る9月5日に、熊本から実習生が、1日だけカフェにやってきました。

開店準備を教えてあげました。他には、オーダーを取った後のセットや、商品を出す仕事や配達の手伝いを一緒にしました。

受注が無い時は、洗い物をしたり、会話をしたり楽しく過ごしました。

また実習生がきてくれたら嬉しいです。

~cafe de きばりやより~

今月のおすすめ

とれたていちごと

山中牛乳が会っちゃいました。

いちごミルク

¥300



きばりやとココ3やの仲間たちが心を込めて栽培・収穫をしている豊滝のいちごをたっぷり使用。夏の疲れが吹き飛ば一杯です。



コン・ブリオ ひだまり
 〒063-0812 札幌市西区琴似 2 条 3 丁目 2-37
 サンハイム 1 階
TEL 615-4131 FAX 615-4132
 E-mail : konburio@nplife.net

第29回共同連 全国大会 東京大会の参加



藤井 孝雄

8月31日(金)～9月2日(日)まで共同連全国大会東京立教大学でかいさいされました。前日の8月31日(金)に池袋のサンサイン水ぞくかんへ行きました。マンボウやペンギンなどを見ました。東京タワーや東京スカイツリーを見ました。

9月1日(土)共同連全国大会のいかいしきがあつて、きょうこうえん座談会、対談といった大会の1日目がおわりました。9月2日(日)第5分科会ではたらくことについてふだんはたらいてることやすききらいゲームをして、たのしいじかんでした。

下水道科学館フェスタに参加して **熊谷 新**

9月8日(土)と9日(日)に麻生の下水道科学館でお祭りがありました。私は今年の4月に入りましたが、ひだまり代表として二日間働きました。

一日目は天気良くて、二日目は雨天で販売しましたが沢山売れました。

仕事は主に接客・チケットと商品の受け渡しなどを行いました。私はお客さんにいらっしゃいませ、ありがとうございますと言いました。すると沢山買ってくれました。

私の母親、札幌養の先生も来てくれて本当に嬉しかったです。来年もバザーに出たいです。

9月8日(土)下水道科学館バザー **伊藤 美由紀**

私は、初めてのバザーでした。お客さんが一杯来て嬉しかったです。ライフのみんなと仕事できて嬉しかったです。来年も楽しみです。

下水道科学館イベントにて **松橋 勇祐**

9月9日(日)2日目に下水道科学館のイベントに参加しました。

午前中はあいにくの大雨の中で大変でしたが館内で商品をアピールしました。午後には雨が止みましたがお客さんもたくさん来てくれました。

商品もますますの売れ行きとなりました。1日だけの手伝いだったけども頑張って売れました。

☆キッチンレシピ!☆

<かぼちゃとひじきのコロッケ> 2人分

- ① ひじきは水で戻して水気を切る。かぼちゃは皮をむき、ラップで包みレンジにかける。
- ② 火が通ったらつぶし、荒熱を取っておく。
- ③ 強火のフライパンでごま油を熱し、豚挽き肉を炒める。肉に火が通ったらひじきと塩コショウを加える。
- ④ かぼちゃと③をボウルに入れて混ぜ合わせる。
- ⑤ ④を小判形に丸め、パン粉をまぶしつけて170度くらいの油で揚げる。
- ⑥ レタスやサラダ菜などを添え、ウスターソースをかける。

<材料 2人分>

- | | |
|-----------------|---------------|
| かぼちゃ……………1/10ヶ | バター…………… 小さじ1 |
| ひじき(乾)…………… 10g | ごま油…………… 小さじ1 |
| 豚ひき肉…………… 100g | ウスターソース… 適量 |
| レタスなど…………… 4枚 | 塩こしょう…………… 少々 |
| パン粉…………… 大さじ5 | |





ヘルパー派遣業務・在宅介護支援 **ゆい結** ヘルパーステーション

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒 1F TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

『介護のお資格』

管理者 **笠井 衛二**

介護の資格について考えたい。

介護というお仕事には資格が必要だ。ヘルパーの1級、2級の等級から介護基礎研修修了資格、介護福祉士という資格である。

介護の総体からいえば、医師、看護師という医療資格から、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員、理学療法士、作業療法士、認知症ケア専門士、心理療法士、言語療法士、住環境コーディネーター等々推挙に暇がない。

偏見的に見れば、福祉の生育歴が国から信用されず、各資格で縛り付けているかが、よく読み取れる。

また、介護保険法の中心にある介護支援専門員(ケアマネージャー)についても、主任ケアマネとか認定ケアマネとかのより専門化や先鋭化が求められている。

一昔前は、社会福祉法第18条の規定による社会福祉主事が唯一の福祉資格の時代があった。社会福祉主事について法はこう規定している。

「社会福祉主事は、・・・人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり・・・」とある。この法は今も適用されるが、・・・人格が高潔で、思慮が円熟し、社会福祉の増進に熱意があり・・・とは、気恥かしきで一杯だ。

「介護の資格はいらない、優しい人が欲しい」とはある高名なグループホームの責任者の弁であるが、私は承服しない。確かに介護は資格ではないが、介護の仕事は優しさだけでできるほど安易でもない。

優しさとはどんな場面でも必要としている、まさに人間性の問題であり、介護とかの職業個別な話ではないはずだ。

誤解を恐れず続けるが、介護にいま必要なのは資格である。正確に記せば、資格を取る姿勢が必要なのだ。人の生活を支えるという事実、優しさという数字に語れない、ぼんやりとして誰も評価しえない当たり前の行為に頼っていいのだろうか。

決してそうではあるまい。優しさに介護を任せではいけない。何度も言うが、優しさがいけないのではない。優しさに頼る介護を、私は許せない。

当然だが、資格が人を決めるわけではない。資格や地位、経験だけで介護や福祉を自慢げに語る人がいるが、そんな輩は人として卑しい人種と切り捨てていい。資格とは、出会いのための手段にすぎないのだから。

資格の取得を目指す学びの姿勢や、研磨検証する態度が介護世界には希薄である。障害や老人の介護は、人それぞれのケアであり、その人にあつた対応が求められている。つまり、介護とは個別ケアといえる。自閉であれ、精神、身体、脳性まひであれ、その人特有の個人支援であり援助なのだ。

君はパンもご飯も麺も、ステーキもスープも林檎もプリンも、ワインやカレーまで二本の箸で食べるのだろうか。

障害の多様性や精神の多重構造、細分化された認知症の症状など、学びの道は遠く長い。資格取得はその長く遠い道の扉門を叩くことだ。

人の生活を担う君よ。

より狭く、より高い門に挑んでほしい。

お知らせ

ヘルパーステーションゆい結(ゆい)では、ホームヘルパー(1級または2級ヘルパー資格保持者)を募集しております。まずはお話だけでも聞いてみませんか?ご応募お待ちしております。

【勤務先】 西・東・北・厚別・白石の各区

※勤務場所への直行直帰可

【資格】 経験不問、学生さんもOK、ブランクがある方・未経験・勉強中の方も歓迎

【時間】 7:00~24:00の間で
2~6時間位、週1~6日の勤務

【給与】 時給850~1,200円以上、交通費規定

【応募】 電話の上、写真付履歴書ご持参下さい。

★勤務先・時間・日数等、ご希望に合わせてます。

【連絡先】 Tel:011-623-2505(佐々木・笠井)

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32



共働事業所 もじや

〒064-0808
札幌市中央区南 8 条西 2 丁目 5-74 市民活動プラザ 星園 104
TEL (011)596-6583 FAX(011)596-6584
E-mail:mojiya@npolife.net

-  印刷・編集・制作・出版・企画
-  テープ起こし
-  名刺、小冊子の版下作成
-  ホームページの作成管理

Mojiya 

『もじやの仕事』

所長 福田 義浩

夏が終わり、もうすぐ秋である。「光陰矢の如し」と言うが、季節の移り変わりは早いものである。

もじやは、この3年間で一番安定しているのが今年であるような気がする。変化の多い仕事に、皆よくついてきているし、努力もしている。

結果を求めるあまり、時として声を荒げたりもするが、それも全体で吸収し対応してくれるようになった。仕事に対する慣れもあるのだろうが、人を思いやるという事が仕事の流れに対する潤滑油になっているように思う。

「となりは何をしているのか」を考えるだけでも、視野が広がっていく。我流でやっていた仕事の手を少し止めて、となりの人の仕事ぶりを参考にするのもいい。とかく仕事は単調になりがちで、しかも納期に追われ、自分の仕事のやり方がこれでもいいのか、考える時間さえ無くなってしまふ。

そんな時、つい弱音を吐いてしまいそうになるけれど、となりの人のなかなかあきらめない哲学者のような顔を見ると、そこからほんの少し立ち向かう勇気をもらう事ができる。

世代も違う、性別も考え方も違う人間が集まって仕事をしているのである。ぶつかりながら、角が取れ、丸くなっていく。形がいびつになっても、皆、年相応に角が取れていく。

丸くなるという事は、物事を調整する能力の向上ではない。その意味で、人間が丸くなるという事は、自分の個性が磨かれていく過程なのである。決して妥協の産物ではない。

1日24時間の3分の1を一緒に過ごす仲間である。しかも1日で1番いい時間帯を、仕事のために捧げる仲間である。どこにだってオムツを届けてあげるし、いつだって吐いた物の始末ぐらいしてあげる。寂しくなったら、いつでも電話してくれている。金だって、あればいくらでも貸してあげる。

そんな人間になってみたいと思うのだが、理想

は高く、されど現実には低いのである。そんな事を弱くなった秋の陽光の中で考えてみた。これからは切磋琢磨しながら頑張っていこうと思う。

『障害者老いやすく?』

早川 玄

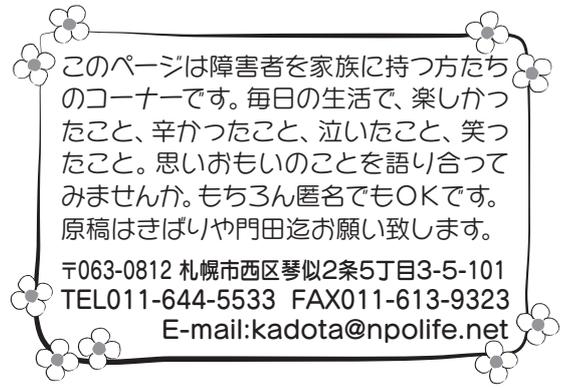
誤解を招きそうな題名だが、しみじみ感じたことである。「今月のアドボケイトになにか書いてほしい」と言われ、引き受けたものの、何も書けなくなっていることに気づいた。発想はあるものの、後が続かない、内容がずれる、記憶違い等々、全く文章にならない。そんなトシでもないはずなのに、これが「老い」というものなのだろうか?

障害者になった原因が脳梗塞であるため、脳外科に通院を続けているが、医師から「脳の病気の経験者や眠剤の常用者は、認知症の危険性が通常よりも高くなる」と言われたことがある。不自由だからといって(もともと病弱なのだが)、体をあまり動かさないことも脳にはよくないという。この言葉には背筋が凍った。

最近、人名を思い出せないことや覚えられないこと、同じ行動を繰り返すこと、対話相手に聞き返すこと、誤嚥(ごえん)がやたらに多くなってきている。興味のあることもだんだん失せてきて、あきらめが早く、深く物事を考えることも減ってきた。これは危険なことだ。

老いない人間はいない。しかし、若々しく活動している老人はたくさんいる。私も寝たきりや、徘徊するようには、あまりなりたくはない。いろいろと予防の方法はあるようだから、なるべく努力しようと思う。「あまり」という消極的な表現をするのは、実際になった人を否定したくないし、自分が本当にそうなった場合も考慮してのことだ。

わが夫婦に限っていえば、「面倒を見てもらえるから、先に呆けたほうが勝ち」という勝負になっていて、お互いなんとか相方がそうならないようにと、奇妙な抗争を繰り返している。



…*…*…*…***考え方で楽しくなれる***…*…*…*

富良野市 高田 保子さん

我が家は、主人、私、長女(25歳・札幌市在住)、長男の瞬(22歳・親と同居)、次男(19歳・室蘭市在住)の5人家族です。

長男の瞬は、小さいときはかんしゃく持ち・自傷行為・偏食・多動で手がかかり大変でした。

2歳半で知的障害を伴う自閉症と診断。療育通園センター4年、加配付で保育所2年、地元小学校の特学を2年、鷹栖養護学校を小3～中3の7年、雨竜高等養護を卒業後に地元富良野市内の事業所サポートステーション栄町・工房すきっぷで楽しく作業をしています。

また、中学1年でてんかんを発病した頃から、薬のせいもあってのんびり屋へと変身。愛読書は月間テレビジョンで、買うとすぐ頭へインプット。毎日番組欄をTVで変更が無いかチェックしています。カレンダーも万年入っているのですが、惜しいことに自分だけの世界でしか使えないのが残念です。

7月から、てんかんの発作が再発し、自由が減り監視される状態でちょっとかわいそう。20歳で再判定を受けた療育手帳は限りなくAに近い微妙なB。でも、何が楽しいの?と聞きたくなるほど楽しそうに暮らしています。

親として初めは、障害は少しでも軽くなり健常の同年の子供たちとやっていければ…。と思っていましたが、どんなに努力しても難しいことが分かり瞬を養護学校へ転校させました。

姉も弟も瞬の事であきらめたり、譲る癖が付いていたため自分を強く主張できず、よくいじめに遭っていました。自分より劣っている人間が必要でピリピリした子どもたちがいじめを起こしていたようです。人と比べて自分が上でなければならぬと思っていたんでしょうね。だから「〇〇のくせに」なんて、良く聞きました。私は、いじめられる人間は無視できない存在なのだから、ある意味魅力的だと思っています。だから、いじめられる事が惨

めで恥ずかしいとは思わない。

黙って我慢する事は現状のままで良いという事で、何もしないと現実是不変変わらない。そんなこと出来ないと言う人がいると思うけど、しゃべれる・動けるこんな素敵なツールを使わないのはもったいない。勇気を出すのは、いい子のままではいられない。格好悪い出来ない部分の自分を認め、今出来る事だけ考えたら可能性が出てくると思う。

大人の世界にもいじめは沢山ある。人間がいる限り無くならない。みんな仲良く出来たら戦争が起こるはずが無い…といつも思う。

話は変わりますが、人はいずれ障害者になります。眼鏡をかける、持病の薬を飲む人はそれが無いと生活が困難になるのだから障害者だと私は思っています。

そう考えると障害者は沢山いる。ただ、介護や支援を受けていないと障害者だという自覚が無い人達が沢山いる。また、障害者が家に居るか居ないかに関らず、我が家より大変な家庭はあるはず。まだまだ大変じゃない。色々な人の話を聞くことで物の見方が変わる。

「時間」は誰でも24時間しかなく、楽しく過ごすのも、くよくよ過ごすのも自分の心で決まるもの。現実が変わらないなら、くよくよするのはもったいないので「楽しめそうかなあ」と思いながら頑張ることで人生を楽しんでいます。



8月25日 富良野神社例大祭 お手伝い(後は父)



NPO 法人 札幌・障害者活動支援センターライフ

ゆめぴりか



こころやは平成24年度産低農薬米 ゆめぴりか の年間契約販売を始めます。

年間60kg以上(10kg単位)の注文から契約させていただきます。

北海道の優良品種
極良食味米

■5%割引

年間契約をしていただくと値段より5%引かせていただきます。
通常5kg 2,250円、10kg 4,500円のところ
60kgの場合27,000円が25,650円になります。

安心・安全!!

新鮮!!

栄養価たっぷり!!



もちもちっ!!

3kg 1,350円
5kg 2,250円

※ご要望に応じて玄米から白米まで精米いたします。

■有効期限

2012年10月~2013年9月30日の1年間

■配送について

年間60kg以上契約のお客様は配送料無料。
範囲は琴似周辺応相談。

※ご希望の方はこころやへご連絡下さい。FAXまたは郵送で申込み書を送付させていただきます。

..... お買い求め・年間契約のお申し込みは



こころや

札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションMOM01F
TEL:011-614-1871 FAX:011-613-9323

.....



コン・ブリオ ひだまり



食堂メニューをリニューアルしました!

- ・ 本日の選べる定食 魚or肉
- ・ 生パスタ(ナポリタン・バター醤油・ペペロンチーノ)
- ・ 焼きたてミックスピザ
- ・ 自家製ダレの豚丼
- ・ 親子丼
- ・ 野菜たっぷり肉チャーハン
- ・ カレーライス
- ・ ハンバーグ定食
- ・ うどん・そば(温・冷)

佐藤シェフのおススメ!!

ALL ¥500で
ボリューム満点!!

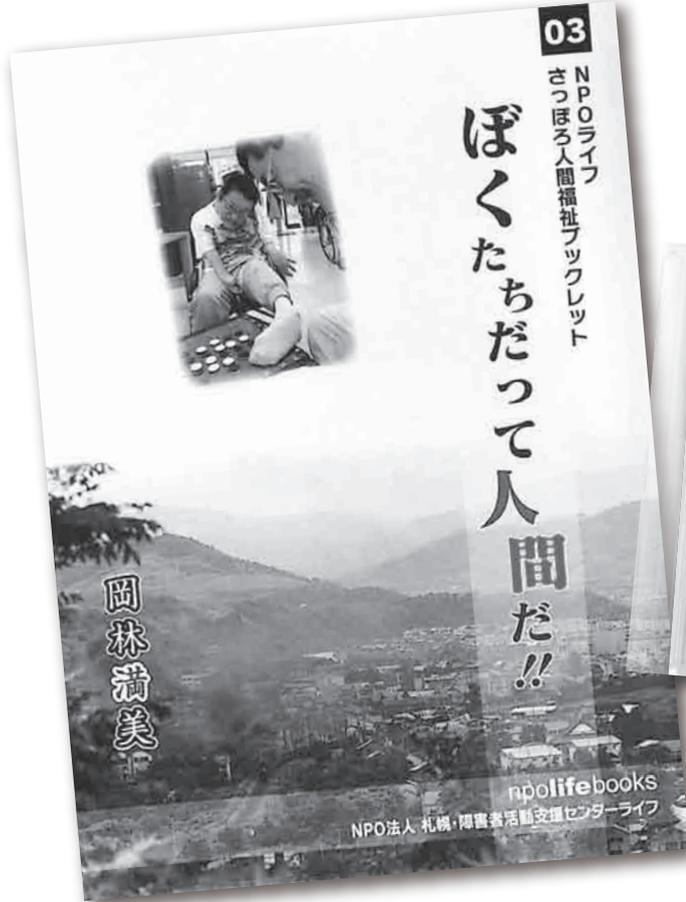


写真はイメージです

ライフの事業所 ころや在籍の岡林満美(おかばやし みつよし)さん執筆 NPOライフブック 待望の 第3段

絶賛発売中

障害者として生まれた満美。
話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で
自殺まで考えた彼が今、
『生きていて幸せだ。』と言えるのは…
岡林満美、渾身の一冊、**ぼくたちだって人間だ!!**



**CD 岡林満美
僕たちの小さい命
同時発売!!**

NPO ライフブックレット No.3
2012年8月31日発行
『ぼくたちだって人間だ!!』
定価 800円(送料別)
A5判 134ページ

2012年8月31日発売
『僕たちの小さい命』
定価 300円(送料別)
※ 同時購入 1,000円(送料別)

震災復興は雇用の創出から いまこそ社会的事業所の出番です!

昨年1月に開催したセミナー
『障害者等の就労を考える 社会的事業所の役割』の
講演記録ができました!

npolifebooks NPO ライフ さつぽろ人間福祉ブックレット

02

誰もが働ける社会を

講座 「障害者等の雇用の活用を考える 社会的事業所の役割」報告集

公は制度がないと動かないし、儲からないと民は動かないけど、公でもない民でもない、この社会の我々の生き方というのをとりあえず「社会的事業所」と呼ぼうか

—— ㈱ナイス代表取締役 富田 一孝 ——

社会的困難を抱える人たちとの「共働」をめざす、「社会的事業所」制度の法制化は急務であります。

社会的事業所とは何か?

その理念と実践の取り組みが解りやすく語られています。

NPO ライフブックレット No.2
2011年6月30日発行
『誰もが働ける社会を』
定価 1,000円(送料別)
A5判 140ページ



私たちは「福祉」という言葉
を好まない。それは、「福祉
施策」を必要とする人た
ちを見下したときに使われ
ることが多いように感じられ
るから…

本来『「人間福祉」である
べき「福祉」が、今、「制度
としての福祉」になりさがっ
ている』という社会福祉法
人この実会の加藤孝さんの
言葉に触発され、『さつぽろ
人間福祉ブックレット』を発
行する。

NPO ライフブックレット No.1 2008年8月31日発行
『収容施設はもういらないと思うまで』
定価 840円(送料別) A5判 72ページ

●お申し込み

NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションモモ1F
TEL:011-633-6666 FAX:011-613-9323
mail:honbu@npolife.net HP:http://npolife.net/

私のオススメ

海堂 尊 著「ひかりの剣」

もじや所長 福田 義浩

この作品は、海堂が『チーム・バチスタの栄光』や『ジェネラル・ルージュの凱旋』を書く前の、作家としての原点と言っている作品である。

主人公である東城大医学部剣道部主将の速水晃一と、帝華大医学部剣道部主将清川吾郎の医鷲旗争奪を軸に、彼等を取り巻く個性豊かな面々が彼等に影響を与えながら物語を思わぬ方向へと導いていく。

医学部剣道部に所属する者なら誰もが、医鷲旗を母校に持ち帰らなければならない日々精進するのだが、速水と清川はそれぞれの個性が故に、剣の道を少し変わった角度から極めようとする。

BOØWYの音楽を好み、とてもいい加減な奴だった清川が、朝比奈ひかりと彼女のおジイの力によって少しずつ変貌をとげていく。一方、速水は一刀流の極意である「切り落とし」を会得するため、ただひたすらに真剣素振りをして一日一万本こなすのである。両者は己のプライドをかけ、卒業までの短い季節を、自分らしく生きるために努力し、己を高めていく。そしてクライマックスの医鷲旗大会で、清川は陰の位八相で、速水は上段を極め、相対する事になる。

何でもいい、何かに打ち込んで挫折し、岩山を少しずつ登るように地道な努力をしてこそ、簡単には折れない強い人間になれる事を、この作品は教えてくれる。

人生において、無駄にする時間はあっても、無駄な時間はないのだ。それを決めるのは自分なのだから。

出版社：文芸春秋
定 価：1,680円(税込)



編集後記

今年の夏は、いや9月過ぎまで本当に暑かった。その暑い最中に熊本から1名の女子大生がライフに訪れたが、その学生さんですら北海道は想像以上に暑いと言っていたから、本当に尋常ではない。しかし、計画停電も実施されることなく節電する期間を何とか終えたが、問題はこれからだ。北海道は夏より冬が大変だ。特に在宅で人工呼吸器などの医療機器を使用する人にとっては戦々恐々とした厳しい冬になるかもしれない。電力の停止は命に直結する。こうした人たちがいることも忘れないでほしい。実習に来ていた学生さんにも多くの人たちと一緒に仕事をして体験したことを是非、回りの方々に発信して欲しいと思うし、広く活動に参加してもらえたら、もっと嬉しい。(タケ)

🎧 ご協力ありがとうございます 🎧

寄付金

川村 勇 様
千島 進 様
織本 英子様
後藤 由美子様
宇田川 利夫様
匿名希望 様

アドボケ購読料

並木 節 様
後藤 由美子様

賛同会費

匿名希望 様

～ライフカンパのお願い～

NPO札幌・障害者活動支援センターライフでは、設立して23周年(法人化して12年)を越えたところですが、これまで何か行動を起こす時に目標を設定してカンパのお願いをしてきました。しかし、昨年末から皆様方にライフ運営資金のためのカンパをお願いしてきています。

ここ数年続く世界的な不況で仕事量は減っており、ライフの運営が厳しくなっていることも事実です。そこで、大変恐縮ですが、ライフの運動に共感する皆様方からの応援を是非ともお願いしたいと思います。

振り込み先

北洋銀行 琴似中央支店 普通預金 4606735
加入者名 特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

札幌信用金庫 琴似支店 普通預金 3296744
加入者名 特定非営利活動法人
札幌障害者活動支援センターライフ
理事長 我妻 武

ゆうちょ銀行 振替口座 02710-4-63485
加入者名 NPO札幌・障害者活動支援センターライフ

アドボケイト 神無月号(第143号)

2012年10月10日発行(毎月10日発行) HSK通巻第487号

1973年1月13日第3種郵便物認可

発行人/北海道障害者団体定期刊行物協会

細川 久美子

〒063-0868 札幌市西区八軒8条東5丁目4-18

編集人/NPO法人札幌・障害者活動支援センターライフ

理事長 我妻 武

〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5マンションモモ1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

E-mail honbu@npolife.net

ホームページ http://npolife.net/

郵便振替口座 02710-4-63485

定価 100円